

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 畑中 久明 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5 シャンポール中野 504 号  
TEL/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
<http://www.nihonkouren.jp>

No.359  
発行 2023 年 8 月 15 日



8 月 10 日 「保険証をなくすな」東京・上野広小路で宣伝行動

## 全ての県から東京大会へ参加をすすめよう

2023 年 8 月 14 日 中央実行委員長 杉澤隆宣

地球温暖化で地球が燃えています。日本でも「線状降水帯」の連続発生による集中豪雨で各地に大きな被害が出ています。くらしも異常です。物価高騰はとどまることを知らず、減額され続ける年金生活者の困窮度は増し、特に女性受給者の 80%に当たる低年金者の暮らしは「恐怖と欠乏」の毎日です。岸田自公政権は国民生活を守るところか、マイナンバーカードの性急な導入の結果、「治療費の窓口請求に間違い」「個人情報漏洩不安」など欠陥も明らかになり「今の紙の保険証の継続」「マイナー制度の廃止」の声が全国で広がっています。岸田政権の支持率が 20%代の「危険水域」に急落しながら、頑迷にも「決行」姿勢を崩しません。秋に予想される総選挙で鉄槌を下そうではありませんか。コロナ感染症が全国各地で拡大し医療崩壊も心配されます。感染対策は個人責任ではなく政府・自治体の役割をしっかり求めていく必要があります。平和の問題で日本政府は核兵器使用を前提とする「核抑止」に固執し、核兵器廃絶、「核兵器禁止国際条約」加盟に背を向け、「敵基地攻撃能力保有」を強行、「大軍拡・大增税」で「戦争する日本」をまい進、アジアの緊張を高めています。パンデミック・コロナ

で新自由主義、資本主義社会の限界が暴かれ、次の「新しい社会」が模索される激動の世界を私たちは進んでいます。

第 36 回日本高齢者大会 in 東京（11 月 12 日、13 日）まで 3 か月と迫りました。今年の大会は①大軍拡と社会保障削減の攻撃を跳ね返す②日本高齢者人権宣言を学び、活かす③全国で地域の高齢期運動をつくっていく、この 3 点を柱に取り組んでいます。大会リーフレットも配布し、8 月より参加受付を開始しています。実行委員会は学習講座・分科会・移動分科会・夜の交流会も 3 つの柱にそった魅力ある企画を準備しています。全体会の記念講演は軍事大国化ではない日本の安全保障のあり方を柳沢協二先生、講座分科会は田中優子さん、佐々木憲昭さん、渡辺治さんなど豪華な先生たちがお待ちしています。

東京大会は 47 都道府県すべてからの参加を望んでいます。現地参加に力を注ぎ、2 日間で延べ 3500 人（1 日目 1700 人、2 日目 1800 人）の参加目標にしています。東京大会では全体会と 6 つの学習講座・分科会会場に限定してオンラインで配信します。オンラインの利点を生かし大会参加をより増し、各地の高齢期運動につなげていきましょう。

# 大会参加申込 第1次締切 9月末日

1日目 11月12日(日) 企画紹介

## 学習講座 13時～16時30分

号館	教室			
13号館	1321 (330席)	第1講座		日本を「戦争する国」にしているのか 渡辺 治一橋大学名誉教授・四谷姉妹(岸松江・青龍美和子 弁護士)
13号館	1331 (330席)	第2講座	前半	私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるか—克服の道を考える 佐々木 憲昭 日本共産党元衆議院議員
		第3講座	後半	ジェンダー平等で未来を切りひらく 田中 優子 法政大学名誉教授
5号館	533 (63席)	第4講座	前半	気候危機をどう受けとめるか 江守 正多 東京大学教授
		第5講座	後半	防災とまちづくり 福田 信章 災害協働サポート東京 事務局長
5号館	541 (63席)	第6講座	前半	コロナ禍でみえた日本の医療の課題 増田 剛 全日本民医連会長、埼玉協同病院院長
		第7講座	後半	日本の農業と自給率、食糧安保 長谷川 敏郎 農民運動全国連合会会長
10号館	1042 (60席)	第8講座	前半	高齢者の就労と貧困問題—下流老人問題の現在と未来 藤田 孝典 聖学院大学客員教授
		第9講座	後半	いのちのとりで裁判と生存権の意義 前田 美津恵 全国生活と健康を守る会連合会副会長 笹井 敏子 埼玉県生活と健康を守る会会長全生連全国理事 濱田 道子 生活保護基準引き下げ違憲訴訟埼玉原告
10号館	1041 (60席)	第10講座	前半	マイナンバーカードで、国民の管理？ 稲葉 一将 名古屋大学大学院法学研究科教授
		第11講座	後半	インボイス(適格請求書)とは何か？私たちの生活にどう影響するか？ 佐伯 和雅 税理士法人東京南部会計 代表社員 税理士
10号館	1052 (60席)	第12講座	前半	戦争する国づくりと教育 中嶋 哲彦 名古屋大学名誉教授
		第13講座	後半	原発とエネルギー問題 —岸田政権の原発回帰とGX脱炭素電源法の何が問題化— 野口 邦和 元日本大学准教授・元日本科学者会議原子力問題研究委員長、原水爆禁止世界大会運営委員会共同代表

## 分科会 13時～16時30分

号館	教室	分科会名称
◎ 10号館	1051 (60席)	沖縄と全国の米軍基地問題 小泉 親司 日本平和委員会常任理事
5号館	532 (52席)	「高齢者人権宣言」をどう活かしていくか 寺崎 由郎 日本高齢期運動連絡会事務局次長
5号館	552 (91席)	日本高齢者人権宣言と年金 鈴木 静 愛媛大学教授
◎ 10号館	1021 (210席)	社会保障への攻撃にどう立ち向かうか 岡崎 祐司 佛教大学教授
5号館	531 (255席)	「介護が必要な人が介護サービスを使えるように」 …介護問題と介護保険大改悪とたたかう 服部 真理子 立教大学教授
◎ 1号館	大会議室 (102席)	医療費無料化、自己負担ゼロが今こそ求められる 長友 薫輝 佛教大学准教授 折田真知子 日の出町町会議員 神奈川県保険医協会
◎ 10号館	1031 (108席)	住民主体のまちづくり「いつまでも住み続けたいまち」 …(1) 多世代が知り合ってつながり豊かな地域づくり 室田 信一 東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 准教授
10号館	1032 (108席)	住民主体のまちづくり「いつまでも住み続けたいまち」 …(2) 認知症になっても安心して暮らせる社会(地域)をつくるために 山田 智 東京・健友会(中野共立病院) 医師
5号館	553 (63席)	交通・足の問題 可児 紀夫 愛知大学地域政策学部地域政策学センター研究員
10号館	1043 (60席)	住まいは「人権」…住宅政策を見直す 佐藤 和宏 高崎経済大学准教授
5号館	551	高齢期を生き生きさせる文化活動 …短歌の力で、世の中を変えよう! 津田 道明 新日本歌人協会副代表
10号館	1022 (60席)	高齢期運動は地域から、高齢期が地域で人間らしく生きる運動を上げよう 小嶋 満彦 東京高齢期運動連絡会副会長
10号館	1033 (60席)	歯科講座 森元 主税 歯科医師
10号館	1053 (84席)	加齢による難聴に対する補聴器助成 杉原恵子 言語聴覚士



＊ ＊ 夜の交流会 17時～19時 ＊ ＊

5号館	552 (91席)	みんなで聞こう 「人権を守る民衆の闘いが社会保障を前進させた」 篠崎 次男 日本高齢期運動連絡会顧問
5号館	551	高齢者大会 井戸端会議 久々の井戸端会議開催！ 日頃の思いを大いに語り、全国あちこちのみんなの元気を分かち合おう 森 芙紗子 横井 妙子
10号館	学生食堂 (240席)	うたごえ広場 東京の夜空にうたごえ

◆ ◇ 移動分科会 ◇ ◆ 申し込み期間10月1日～10日

(1) 東京大空襲・戦災資料センター 定員

行程 大正大学 バス出発 ⇒ 東京大空襲・戦災資料センター  
空襲体験者のお話・センター内見学 ⇒ バスで大正大学へ(解散)  
特別参加費：1,000円・入館料：300円

アジア太平洋戦争の末期、1945年3月10日、アメリカ軍の無差別爆撃によって東京の下町一帯は焼け野原になり、約10万人もの人びとが命を奪われました。東京大空襲・戦災資料センターは東京大空襲をはじめとする空襲や戦争による一般民間人の被害の実相を明らかにし、それを伝えています。当日は、東京大空襲体験者からお話を聞きセンターを見学します。



(2) 北区戦跡ウォーキング

行程 現地集合 北とぴあ前  
JR王子駅 徒歩 4分  
東京駅 ⇒ JR京浜東北線(20分) ⇒ 王子駅  
☑ウォーキングです。歩きやすい服装・靴で参加してください  
☑王子駅には大きな荷物用のロッカーはありません



旧陸軍にゆかりのある戦跡をめぐるながらのウォーキングです。地元のガイドが案内します。  
右の写真は東京第一陸軍造兵廠第一製造所(旧陸上自衛隊十条駐屯地 275号棟)の赤レンガ倉庫



### (3) 靖国神社・遊就館

行程 大正大学 バス出発 ⇒ 靖国神社・遊就館  
⇒ バスで大正大学へ(解散) 車内でレクチャー有  
特別参加費: 1,000円 入館料 800円



靖国神社は戦前、国民を侵略戦争へ動員する精神的支柱の役割を果たしました。戦後も日本の侵略戦争を美化する特異な施設です。遊就館(ゆうしゅうかん)では侵略戦争を正当化し、美化する展示やビデオ上映をしています。日本国憲法と相いれない施設ですが、多くの国会議員も参拝します。日本の平和を守るためにも、戦争への道を進む動きをしっかりと学びましょう。当日はバスの中で、専門家の方のお話があります。

### (4) 東京の山宣の足跡をたどる

行程 現地集合 東京山宣会事務所 千代田区労連事務所内  
(最寄りの駅はJR水道橋駅 西口徒歩2分)

住所: 千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル2階  
東京駅⇒JR中央線(2駅)⇒お茶の水  
駅⇒JR総武線⇒水道橋駅

資料代: 500円

東京山宣会の事務所でお話を聞き、ゆかりの場所を案内していただきます。

☑歩きやすい服装・靴で参加してください。雨具も用意してきてください

☑荷物は事務所に預けられます



やってみよう!

### 高齢者大会をユーチューブで視聴してみませんか

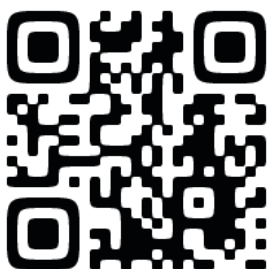
東京大会でも参加申込された方に全体会と6つの学習講座・分科会をユーチューブで配信します。そこで、少し自信のない方に、実際に体験していただこうと思います。

京都大会で好評でした山極壽一さんの記念講演です。是非視聴してみてください。

(1) <https://youtu.be/rSi8BbXN6xg>

(2) <https://x.gd/2023test>

..(1)でも(2)でも同じに接続します。



東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

# はっぴゃくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F  
TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782  
E-mail tokyo.koureiki@gmail.com

## 8月1日から参加受付開始します

大会リーフレットが出来上がりましたので今月末に各団体に参加要項と申込書を発送します。



### ◆申込期間 受付開始8月1日(火)

第1次集約9月30日(土)10月1日以降も受付

### ◆申し込み方法

- (1) 地域団体でまとめ、申し込み用紙で FAX又はメールで事務局へ送付
- (2) 申込書の住所・氏名は明瞭に記載
- (3) 用紙が2枚以上になる場合は1枚ごとに 合計金額を書いて下さい。  
(振り込みは一括でOKです)
- (4) FAXの場合は03-5956-8782へ
- (5) メールの場合は

[Koureishataikai.sanka@gmail.com](mailto:Koureishataikai.sanka@gmail.com)

へ申込書のファイルを添付で送付

- (6) Web参加の場合は使用するアドレスからメールで申し込んで下さい。
- (7) 上記以外の受付方法が必要な場合は事務局にご相談下さい。

### ◆参加の仕方

- (1) 参加申し込みされた地域・団体・個人に①大会のしおり②参加証③資料を10月に送付します。
- (2) 大会当日は参加証(ワッペン)を服などの見える場所に貼り、しおりを持参して参加してください。
- (3) 講座・分科会の参加希望は取りません。希望の教室が満席の場合は他の教室へ参加して下さい。

### ◆参加費の支払い

郵便振替で下記の口座へ入金して下さい  
(団体名・個人の場合は参加者名を正確に記載してください)

口座記号・番号 00190-0-602462

加入者名 日本高齢者大会東京実行委員会

### ◆移動分科会申し込み

移動分科会の申込用紙を使い10月1日から10月10日正午までに東京実行委員会へFAXで申し込んでください。定員を超えた場合は抽選となります。

## 短歌を募集します

(テーマ自由)

申し込み ハガキに1首書いて下さい

宛先 新日本歌人協会宛

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-8

大久保商事ビル3F

\*県名・名前・住所・連絡先(電話・FAX・メールアドレス)を明記 ハガキで申し込んでください

締め切り：9月30日必着



## 東京実行委員会第8回会議

7月25日に第8回会議を行い、各講座、分科会、全体会の準備状況や当日の運営、参加者の組織などについて話し合いました。



### 移動分科会—北区戦跡ウォーキング —雨が降っても出来る様に—

北区戦跡ウォークを担当する北区実行委員会では雨が降った場合の事も考えて準備を進めています。

北区には「東京第一陸軍造兵廠」をはじめ沢山の軍閥連施設がありました。それらの史跡を巡りながら平和について考えましょう。

### 募集定員は20名です

移動分科会の申し込みは10月1日から10日正午までに移動分科会の申し込み用紙で東京実行委員会へFAX(03-5956-8782)で申し込んでください。定員を超えた場合は抽選になります。

## 三多摩から1日510名2 日間で1020名目標

三多摩実行委員会はこの間実行委員会を開いて取り組みについて検討を重ねてきました。第1分科会「沖縄と全国の米軍基地問題」の担当団体を横田基地を撤去する西多摩の会が、第8分科会「認知症になっても、…」を三多摩健康友の会が担当します。

基地問題、「PFAS」問題なども深刻です。この間三多摩地域では補聴器補助の運動も繰り広げてきました。

参加目標も検討してきましたが1日510名の参加者を組織しようと検討しています。



## 東京土建は200名目標

東京土建のシニア世代は23,000人強、シニアの会に組織されているのが20,500人程。これから各支部に通達を出して参加組織を強めていく。目標は200名、都本部で参加者をまとめる。

## 「住まいは人権」人権宣言

第10分科会「住まいは人権—住宅政策を見直す」を担当するNPO建築ネットワークでは、高齢者人権宣言にも書かれている「住まいは人権」を深める分科会にしようと呼びかけています。ネットワークに参加している団体に呼びかけて30名ぐらいの参加を目指しています。

## 地域での運動おこし 「日本高齢者人権宣言」の 具体的取り組みを進めるため に—第12分科会

担当の東京高齢期運動連絡会の小嶋満彦さんと関係者数名で分科会の意義や進め方、準備などについて話し合いました。

今の高齢者の生活実態を把握する必要性、行政で進められる地域福祉計画・地域共生社会構想をどうとらえ運動化していくか、先進的事例はないか。

東京での自治体要請行動は重要、高齢者の要求をつかみ、すべての自治体で要請行動を取り組みましょう。取り組んだ成果や課題を高齢者大会に持ち寄りましょう。第12分科会で交流し議論し課題を整理して次年度の運動につなげていきましょう。

### 地域・団体の取り組み状況 をお知らせください

皆さんの地域や団体でさまざまな取り組みが行われていると思います。なかなか取り組みが進まないなどの悩みもあると思います。皆さんからの投稿が参考になる場合もあるかと思えます。是非取り組み状況をお知らせください。写真も歓迎します。

下記のメールアドレスをお願いします  
tokyo.koureiki@gmail.com

## 高齢期運動サポートセンター定期総会・新役員体制

7月28日(金)に第12回社員総会が開かれ、1号議案「2022年度事業報告・決算報告及び監査報告承認の件」、2号事案「2023年度事業計画・予算決定の件」、第3号議「理事・監事選任の件」の各議案が審議され、決定しました。2023年度の事業計画として調査・研究助成、第14回国連高齢化に関するWGへの参加など国際活動、学習文化活動、高齢期運動へのサポート、「サポートセンター報」発行など広報出版活動などを確認しました。総会後に第1回理事会が開かれ、理事長に井上英夫(再任)、専務理事に馬場康彰(新任)を選出しました。

### 役員体制

理事長： 井上 英夫(金沢大学名誉教授)  
専務理事： 馬場 康彰(元日本医療福祉生活協同組合連合会常務理事)  
理事： 今井 好一(日本医療福祉生活協同組合連合会常務理事)  
長友 薫輝(佛教大学准教授)  
畑中 久明(日本高齢期運動連絡会事務局長)  
監事 大関 恵士(生活協同組合・消費者住宅センター専務理事)

## 9月1日 介護保険の改善を求めるキックオフ集会

お気軽に参加もできます



介護保険制度と介護従事者の処遇改善を求める請願署名 キックオフ集会  
介護する人・受ける人がともに  
大切にされる介護保険制度へ  
2023年9月1日(金)18:00~19:00  
ZOOM情報 ミーティングID: 961 9569 5942 パスコード: 264169  
メインスピーカー: 林 泰則 氏[全日本民医連事務局長]  
★ 主催: 中央社保協・全日本民医連・全労連  
お問い合わせ k25@shahokyo.jp

## 「日本高齢者人権宣言」パンフレットのご案内

日本高齢期運動連絡会は2022年11月19日に臨時総会を開催し、第3次草案を「日本高齢者人権宣言」として決定、「第35回日本高齢者大会 in 京都」(11月24日全体会)で採択されました。

「日本高齢者人権宣言」(確定版)パンフレットです。

大いに普及してください。

頒価 1冊 100円 100冊以上注文で1冊50円で卸します

・各県、団体でまとめてご注文ください。

A5判サイズ

